

5/6(土) まいど! 倫理号です。今でも雨が降りそうな天気です。まれく「天候気候を受け入る」

でき得る限りの準備をする... できず、
幸せぬアホ一鳥

2021. 6. 26~7. 2

今週の

倫理

6月のテーマ | 天候気候を受け入れる

1235号

関東の食品メーカーに勤務するSさんが、新商品のプレゼンテーションを兼ねた商談に、T課長と九州へ出張した時のことです。

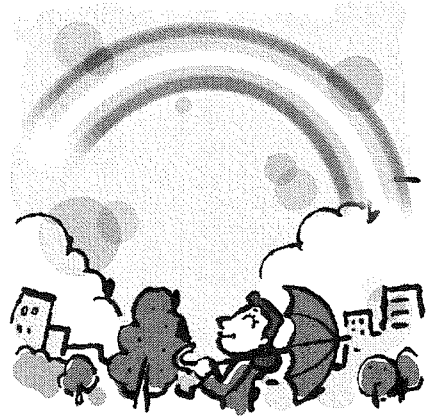
*

Sさんは事前に、天気予報で、大型の台風が出張先の九州に近づいていることを知り、出張当日、九州は台風接近に伴い荒れ模様の天気でした。交通機関は乱れていましたが、幸いSさんたちは予定通りに現地に到着し、最初の商談に臨めました。商談を終えた頃に雨風が一層強くなってきたため、翌日の他県での商談に備えて、Sさんたちは早めの移動を決めたのです。しかし、駅に着くとすでに、電車は全線不通になっていました。再開の目途が立たず、Sさんたちはひとまず喫茶店で待機することにしましたのです。

しばらく経った後、運行再開の知らせがありました。そこで、駅に急いで戻り、切符を手配して、特急列車に乗り込みました。依然として雨風は強く降り続き、列車は徐行と一時停止を繰り返した後、やがて完全に止まってしまいました。

それから二時間以上が過ぎた頃、いつ運転が再開されるのかわからない状況に苛立ち始めた乗客が車掌に説明を求めました。車内が騒がしくなり、その中でSさんも、(見通しが立たないこの状態が続くようならば、明日の商談に臨めないかもしれない)と次第に不安が募ってきたのです。

そうした状況下で、Sさんはふと前方に座るT課長に目が向きました。課長は、周



現状を受け止めて でき得る限り 準備をする

困の喧騒をよそに、特に動じる様子もなく、次の商談で使用する資料の読み込みをしていたのです。

Sさんの視線に気づいたT課長は、「こればかりはどうしようもありませんね。今、自分たちのできることは、次の準備をしっかりと行なうことです。あとは鉄道会社の指示を待ちましょう」と、先のことを心配し過ぎていたSさんの心を見とおしていたかのように告げたのでした。

Sさんは、その言葉を聞いて、落ち着きを取り戻すことができました。

そして、(今日の商談を振り返って、明日はもっと素晴らしい提案ができるよう、今の時間を生かそう)と、今日終えたプレゼンの内容を見直したのでした。

その後、特急列車は運転を再開しませんでした。Sさんたちは別の交通手段を使って、何とか目的地に辿り着いたのでした。

翌日、無事商談を終えることができたSさんが、プレゼンの手応えを感じていると、先方の担当者から「昨日から何度もT課長より丁寧なご連絡をいただき、現状の報告や商談が延長になる可能性があることなどを伺っていました。本日はよくお越しく下さいました」と言われたのです。

T課長が現状をしつかり受け止め、手を尽くしていたことを知ったSさん。天候の心配ばかりしていて、気が回らなかつた自身を反省しました。そして今後は、どのような状況でも、一旦心を落ち着かせ、その時にできるベストを尽くそうと決めました。